

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
2009年4月1日発行
隔月発行・通巻No.167
小誌はホームページからも見られます



馬のクラ 川崎市市民ミュージアム蔵

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集 川崎の農業
- 6 情報ポケット
- 7 施設めぐり

誌上ギャラリー

荷鞍 昭和初期

多摩区菅馬場で農耕馬の斡旋業を営んでいた農家から寄贈された馬用の荷鞍。多摩川流域の農村部では、明治初期から昭和30年頃まで、田畑の耕転や運搬などに馬力が利用されていました。

この鞍は、二輪の馬車を曳かせる馬に使っていたものだと思います。鞍当には花菱紋や松葉紋の縫い取りが施され、赤い布地も色鮮やかで、保存状態もとても良好な逸品です。



(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

地域やグループ等のユニークな活動や注目すべき地域課題への取組みの成果などを紹介します。

私たちは世界のことを理解しているのか？

「世界がもし100人の村だったら」

ワークショップ

もしも世界が100人の村だったらどうなるのか？瞬間的には想像できないこの村を実際に村人になって考えてみるワークショップが麻生市民館でありました。これを進化したのは、公正な地球社会をつくるための教育を研究する桜井高志さん（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）でした。

参加者は、胸に国籍、性別、年齢などが書かれたIDカードを下げます。入村試験では、世界の人口が何人か参加者が考えました。19世紀末から現在までの人口増加は「人口爆発」と称され、既に65億人に達しているのです（3年前の統計）。

65億人を100人に例えたら、日本はたった2人の勘定になります。5人が中国の人です。一人ひとりに立ってもらい参



加者全員がどこの国の人なのか分かってくると、床の書かれた世界地図上に大陸別に全員を集め、それぞれの人口密度も実際の人間の多い少ないで体感しました。

5歳前に命を失う子どもの割合の話では、医療が発達している先進国では死亡する割合が少ないですが、アフリカなど開発途上国では、かなりの子どもが亡くなっていることがわかります。その数の多さに悲鳴のような声があがりました。

安全な水を手に入れられない地域が子どもの死亡率の高い地域と地図上で重なり、だんだん問題点が見えてきました。世界の豊かさは、シャンパングラスによって表され、地球上の20パーセントの国の人々が世界の富の82.7%を持っているという「富の偏在」について知らされ、驚きとともに日本人の豊かさを改めて確認します。

100人分のキャンディ（食料）を分けるときは、計算を正確に時間内に解いた国の人に与えられるルールです。裕福な国のグループには、その国の便利さを象徴する電卓が与えられ、そうでない国のグループには、与えられません。

計算が早く正確な電卓のある国の人にキャンディが与えられることになると、電卓のあるなしという不公平さが問題になりました。世界の人々が平等に食べるとはどういうことなのか、真剣な討論になりました。世界を100人にしてみるだけで実感としてわかるのです。このようなワークショップをあなたも経験してみませんか。

問い合わせ 麻生市民館社会教育振興担当 ☎044-951-1300

いたわりあえば、心に伝わり、体がほぐれる

ウーマンズ・アイ

2月8日、高津区の川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）で行われた「カラダをほぐせばココロがかわる」という講座は、一風変わったヨガの講座でした。

企画したのは、1999年から女性学、ジェンダーの啓発を学び宮前区・高津区を基点として活動している「ウーマンズ・アイ」です。この会は、市民館の女性セミナー修了者3名が、もっと話し合いたいと立ち上げたグループです。今までは、ワークショップやパフォーマンスを通して、ジェンダー落語、ひとり芝居、語り芝居、カラーセラピーなどを開催してきました。今回は調身、調息、調心を目指し、「ストレスとココロの関係をもとにカラダをほぐして疲れをとる」講座を実施しました。

講師は大阪で女性のための相談室「コニ・コマ」を10年間主宰し、その後三重県志摩市の合歓の郷で心の居場所「やまももキッチン」を開いた人権問題に詳しい善積さんでした。まず調身のための体を揺するというのが難しいのです。普段左右に体を揺ることがないのでしょ。ぎこちなく揺すり先生のように体が波打ちません。その上、最初は顔見知りのいない人も多く、緊張からか顔も引きつります。

しばらくすると、隣の人と組んで片方がもう片方の背中をさすったり、服の上から左右に指でひっかいたり、3本指で

ピアノをひくようにまんべんなくたたきました。すると「気持ちいい」「ふー」と声が出始めました。一通り終わると「ありがとうございました」と数分でも自分のために優しく背中をたたいてくれた方への感謝を伝える会話が聞こえます。緊張が解けました。確かに実際たたいてもらうと、人の手の温かさを感じ、体がほぐれていきました。

「体の周りの空気を体に入れる」調息もゆっくりと行われました。参加者は、「先生の気遣いと大阪弁の楽しい語りですっかり気持ちよくなりました」「体がなかなか揺らせなかったけれど最後は、ほかほかしました」「なんだか楽しかった」と疲れた様子もなく笑顔でした。

体のことを悩んでいる人も先生に気軽に質問でき、いろいろな体の凝りに効くといわれるヨガのポーズも教わり、ヨガだけでなくお互いのコミュニケーションを楽しんでいました。

問い合わせ ウーマンズ・アイ tenjinmomo@eco.ocn.ne.jp

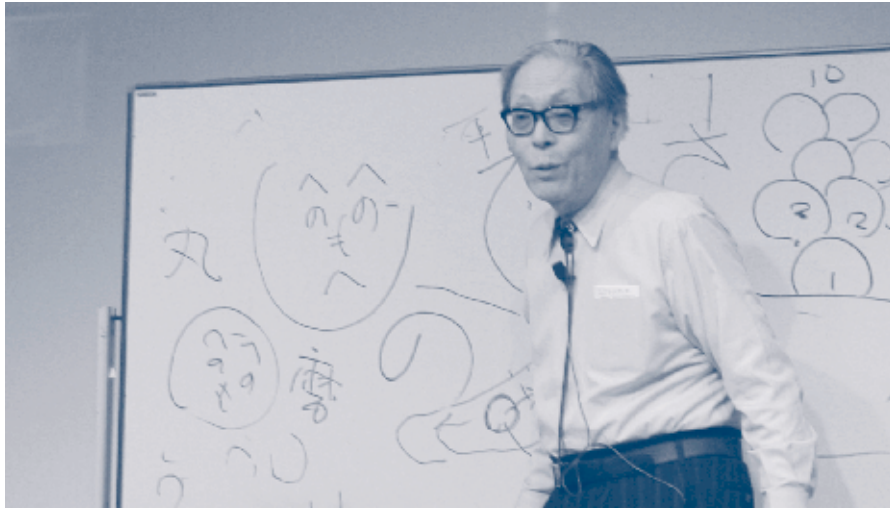


「息を吐きながらたたきましょう。いたくないでしょ!」

シニアのパレット

子どものちから 大人のやくめ

～かこさとしさん KSPで講演～



「人に会うのは久しぶり」と話しを切り出した絵本作家の「かこさとし」さん。ライフワークの子どもの伝承遊びについて話す頃には、身振り手振りをまじえて身を乗り出し、話に熱がこもります。「小さい子どもと一緒に遊ぶ時に合わせて『みそっかすルール』を設けるなど、日本の子どもたちの伝承遊びには思いやりと工夫がいっぱいある」と、かこさんはいいます。

子どもたちを再発見させられるようなお話とユーモアある語り方に、高津区にある「かながわサイエンスパーク」の会場を埋める250人をこえる参加者はすっかりとりこになっていました。

遊びに子どもの知恵がにじむ

「工学部の描く日本地図はこんなもんです」と細長い楕円形の図を描きながらの説明に会場から笑いがもれます。子どもたちの伝統的な「ひとり遊び」のひとつ「へのへの・・・」は、静岡と糸魚川を結ぶ線を境にほぼ東側では「へのへのもへじ」、西側では「へのへのもへの」だという話に会場から「へーっ」と感嘆の声があがりました。誰もが自分の描き方が当たり前だと思っていたのです。京都ではそれが「へのへのもへまる」だったというお話にまたびっくり。

50年にわたる「日本の子どもたちの伝承遊び」の研究を背景に紹介される遊びの一つひとつに滲む子どもたちの知恵に感心してしまいました。「石けり」もそうです。日本では子どもたちがどんどん作り変えてきたようなのです。小さい子が一緒に遊ぶときには、出発線を繰り返したり、両足をそろえて休める「お休み所」を設けるなど「みそっかすルール」を決めているのはその一つです。「外国の『石けり』も調べたが、日本の子どもほど工夫がなかった」とか。うーん、日本の子どもたちって考え深くて優しいんだなあ。いろいろな年齢の子どもたちが一緒に遊んでいると、子ども自身が知恵をはたらかせ、工夫するんでしょうね。どうも子ども観を考え直す必要がありそうです。

大人は子どもたちに学ぶべき

もとは工学部出身のかこさとしさん。川崎市内にある化学工場の研究所での仕事のかたわら紙芝居をし、絵本を出版。科学、政治、歴史、経済、昆虫、気象などをテーマにわかりやすい絵本に仕立ててきました。やがて会社を退職して絵本作家として独立。以来600点近い絵本

を出版、「からのすのパンやさん」はロングセラーで今まで358刷、185万部も出ています。

紙芝居も絵本も、すべては子どもたちに育てられたとかこさんはいいます。子どもたちは、お話が面白ければ「次は何をやるの」とたずね、つまらないと離れていくという情け容赦ない厳しい眼をもっているというのです。子どもは未熟、教え導くものと決め込んでいる大人には耳の痛いお話です。子どもの近くで子どもたちの工夫を見て、その力に感嘆する。それが大人の役目だといわれると考えさせられます。「大人が子どもを見ている以上に子どもは大人を見ている」何だか急に子どもたちの視線が気になってきました。

会場の「かながわサイエンスパーク」のホールは、この日、幼児からお年寄りまで幅広い参加者でいっぱい。この企画は、光触媒の発明者で、神奈川科学技術アカデミー理事長の藤嶋昭さんが、難しいことをわかりやすく説明し、しかも子どもの心をとらえている「かこさとし」さんの絵本に感動して「かこさとし絵本展」を開いたのが縁で実現したものです。



略 歴

加古里子（かこさとし）
1926年福井県生まれ。工学博士。昭和電工に勤めながら1959年「だむのおじさんたち」で絵本デビュー。1973年昭和電工を退社。
これまでに600点あまりの絵本を出版。数々の賞を受賞。ライフワークとして子どもの伝承遊びを研究、出版。2008年には菊池寛賞受賞。

特集 川崎の農業
農業が川崎の「輪」をつくる



グリーンカール



セレスアモス

「直売所での販売は野菜の総販売量の1割を占めています」
 ファーマー養成講座の講師からそう聞いた時は驚きました。
 小田急多摩線の黒川駅近くに昨年4月に開店したJA直営の
 直売所セレスアモスを訪ねるとそれが実感できます。床面積
 600㎡、60台分の駐車場を持つ県内4番目の施設です。ちょ
 っとしたスーパーの野菜売り場よりも広いかもしれません。
 そこに毎日川崎市内の農家が直接野菜を持ち込み、売れ残
 るとその日の内に引き下げるといいますから新鮮さは抜群。
 生産者の名前が表示され、「顔の見える野菜なので安心」「お
 いしい」という評判。休日には午前中で売り切れてしまう
 ほどです。

川崎の333戸の農家の内、販売農家は192戸(平成17年
 度)。140万人の川崎市民の胃袋を「かわさき育ち」の作
 物で満たすことは不可能です。しかし農産物といえども、
 生産過程がブラックボックス化しているなかで、生産者
 と消費者が近いこと、育成過程が見えやすいことによる
 安心、新鮮、環境との調和した農業という特徴は重要で
 す。またさまざまな形で市民との交流や子どもたちの学
 びの場にもなっていること、二ヶ領用水、円筒分水等の
 土地に刻まれた歴史遺産や川崎の環境をつくるうえで農
 業が果たしている役割も見逃すことはできません。

セレスアモスの開店は農家にとっても励みになっています。
 つくってはいるが販路がない、市場に出すには量が足りない、
 自宅で直売するだけではさばけないという悩みを解決して
 くれたからです。消費者の声が聞けるのも励みになるとい
 います。顔が見えるって大事なんですね。

セレスアモスを含めて市内に14箇所ある共同直売所の今後
 の課題は地場産の品揃えを豊かにすること、はざかいき端境期の品薄
 を克服すること、多品種少量生産に取り組むこと。

消費者と農家の双方にメリットがある農業をつくって
 いくには安さ第一の考え方を換え、市場とは別の基準で品物
 を選ぶことも今後は大事になってくるでしょう。

みんなで追求したい「地産・地消」

毎日食べているものを10年分ぐらい合計してみると驚くほどの量になります。それらはすべて身体をつくり、やがて排泄されます。身体を構成する細胞は次々と破棄され、新たにつくられているのです。身体は常に入れ替わっている。それなのに私はいつも私自身だなんて不思議です。その私たちの身体をつくっているのが毎日の食べ物。その食べ物に無頓着なまま、後からお金をかけて健康づくりに励むというのはなんと矛盾しています。

他方、食べ物はどこで誰によってどのようにつくられているのか。流通範囲が広がるほど見えにくくなります。だから「地産・地消」という考えが重要になってきます。作物がつくられる過程が身近に見えるのは都市近郊農業だからできることです。また「地産・地消」は、省エネなどの環境対策にもつながっています。2月に開かれた「川崎農業フォーラム」（写真）のように、農家と消費者が一緒に川崎の農業について考えることは、ますます大切です。大都市は圧倒的な食料流入地域です。持ち込まれた食品の調理くずや残飯はどこへ行くのでしょうか。農業を生かして「物」の循環の欠けた輪（ミッシングリンク）をつなぐことができれば、環境問題の解決にも貢献できそうです。先のフォーラムでも話題になりました。

農業を楽しむという生活も、大規模機械化農業とは違う農業のあり方として考えていくことができます。定年退職した人が農業に参入する（写真は農業サポーターとその相談役の農家の方）だけでなく、休日にゴルフやテニスを楽しむように、農業を楽しむという生き方もありそうです。

*クラインガルテンという先行例もあります。



川崎農業フォーラム



農業サポーター（左は指導者の山田さん）



小泉農園イチゴハウス



栽培に工夫がいっぱい

「あなたの所の野菜なら私が売ってあげる」近くの団地に住む一人の主婦からそんな声を掛けられて、小泉さんは自分たちが育てている野菜に自信がわいてきたといいます。「車椅子の世話になっているお年寄りの一人がうちの農園でイチゴ狩りをしているうちに歩き始めた」「衰弱して何も食べられなくなっていた方が、最後にうちのイチゴだけは口にされた」近くの老人ホームのお年寄りたちをはじめとする消費者とのさまざまな逸話の一つひとつに励まされて、主業農家小泉農園は今日も元気です。

ここには、畑が消費者の身近にあって栽培過程が見え、生産者と消費者が顔を会わす農業があります。おかげで農家には責任を負うべき相手が見え、励みが持てます。消費者は安心、安全、新鮮な食べ物を口にすることができます。そういうことが自然との調和のとれた農業を地道に支えていくのです。農産物はここでは単なる商品ではなくなっています。若者に日ごろ自分たちが食べている物の来歴に関心を持ってもらうために、今後は交流の機会がもっとほしいと小泉さんはやる気満々。話を伺っていると川崎のこれからの農業の姿が浮かんできます。



ミノル式足踏み脱穀機

川崎市麻生区細山に有名な農機具の会社、細王舎がありました。1907年に箕輪政次郎が設立したものです。近くの川に自家発電機を据えて電力を賄い、地域の次三男を雇ったり、販売した縄ない機で作られた縄を製品の梱包のために購入するなど、斬新で地元との関係を大事にした経営をしていました。農作業を大幅に省力化した1910年代販売の「ミノル式足踏み脱穀機」（写真）は東南アジアに輸出され、その名は海外にもとどろきました。戦後販売した小型耕運機は全国に普及。その後市内の大手企業と提携し、幕を閉じました。今は細王舎の記念碑が、読売ランド駅近くの世田谷街道沿いに建っています。

※クラインガルテン：元々はドイツで200年の歴史をもつ農地の賃借制度のこと。日本では「市民農園」のことを指す。

情報ポケット

財団主催の各種講座の案内やお知らせ

◆シニア人材活動支援 2009年度事業計画のお知らせ

- 小学校PC活用授業アシスタント養成講座 6月開講予定
 - 環境学習アドバイザー養成講座 10月開講予定
 - 生涯学習アドバイザー養成講座 10月開講予定
 - その他、シニア活動シンポジウムなどを計画しております。
- ※受講募集など詳しい内容は、当財団のホームページや市政だより等でご案内いたします。

■お問い合わせ 事業推進室 ☎044-733-6626

◆スポーツ教室(第1期)受講生募集(会場…川崎市生涯学習プラザ 4階フィットネスルーム)

教室名	期間	時間	定員・対象	受講料	申し込み方法
ボディケアのための ストレッチ教室	公開講座 4月22日(水)	15時30分～ 16時30分	40人(先着) 18歳以上	500円	4月20日まで FAX又は 電話で
エアロビクス& ピラティスフィーリング教室	公開講座 4月27日(月)	10時～ 11時15分	40人(抽選) 18歳以上	500円	

教室名	期間・回数	時間	定員・対象	受講料	申し込み方法
エアロビクス教室 初心者クラス	5月11日(月)～7月13日(月) 全10回	10時～11時	40人(抽選) 18歳以上	7,000円	4月20日 (必着) 往復はがき
エアロビクス教室 中・上級者クラス		11時15分～ 12時15分	40人(抽選) 18歳以上	7,000円	
ボディケアのための ストレッチ教室	5月13日(水)～7月15日(水) 全10回	15時50分～ 16時50分	40人(抽選) 18歳以上	7,000円	

■各教室の申し込み方法により 教室名、氏名、住所、電話番号、年齢 をお知らせください。

◆パソコンセミナー受講生募集(会場…川崎市生涯学習プラザ 3階研修室)

教室名	講座No.	開催日	受講料	申込締切
パソコン入門	4-A	4/20(月)	6,500円	4/6(月)
ゆっくりじっくり パソコンセミナー	4-B	4/22(水)・28(火)・5/7(木)・ 13(水)・22(金)	25,000円	4/8(水)
パソコンステップアップ	4-C	4/23(木)・24(金)	13,000円	4/9(木)
デジカメ入門	4-D	4/25(土)	5,000円	4/13(月)
インターネット活用	4-E	4/27(月)	6,500円	4/13(月)
ゆっくりじっくり パソコンセミナー [夜間]	5-A	5/7(木)・13(水)・22(金)・26(火)・6/5(金) ・9(火)・12(金)・17(水)・19(金)・26(金)	25,000円	4/23(木)
ブログ/Webメール	5-B	5/8(金)	5,000円	4/24(金)
Word初級	5-C	5/11(月)・12(火)	13,000円	4/27(月)

■受講時間…10:00～16:00 (昼休憩1時間あり)

ただし、5-Aは18:00～20:30

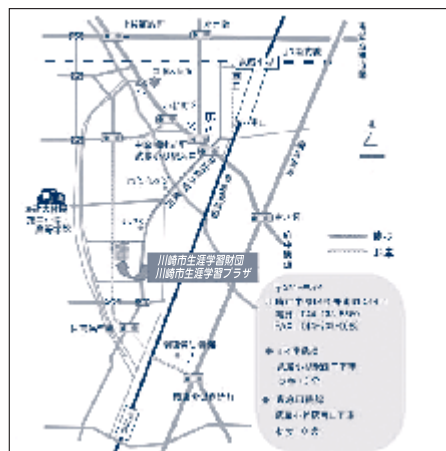
■対象…18歳以上

■申し込み…はがき、FAX又は電話で下記の事項をお知らせください。

◎希望講座No.、〒、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話、FAX、受講目的

スポーツ教室、パソコンセミナーの お申し込み・お問い合わせ

〒211-0064 中原区今井南町 514-1
生涯学習プラザ内
(財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
☎044-733-5894 FAX044-733-6697



財団が管理運営する施設を紹介

施設めぐり

～2009年度の主な事業を紹介します。～

○青少年の家 ～今年もおもしろい 青少年の家～

今年度も『放課後おもしろクラブ』や『よちよち歩きの子集まれ』などを開催します。昨年度の『放課後おもしろクラブ』では、「理科教室」、「造形教室」や「お箏であそぼっ」の3つを行いました。今年度は、さらに鑑賞教室として12月に人形劇公演を予定しています。

『よちよち歩きの子集まれ』では、風船で遊んだり、紙ふぶきで戯れたり、大きな紙にいたずら書きをしたり、園庭で焚火を囲んで芋を焼いたりします。今年度の予定は、6月、9月、11月、3月の4回です。

その他の事業も多数計画して、皆様のご参加をお待ちしています。

★問い合わせ ☎044-888-3588



○子ども夢パーク

～井戸設置事業をします～

現在、地球から生み出される自然素材のありがたさを知る機会が少なくなっています。夢パークで自然素材に触れながら遊ぶことで、身の回りのありがたいものを知るきっかけになることを願って、せせらぎ付近に井戸を設置する事業を行います。

昔、水の使用価値は高いもので、交換価値は低いものだとされていました。近年ではそれも変わりつつあります。生活環境が整備され、上下水道が発達したことにより、水の交換価値を高める結果となりました。子どもが水の使用価値の高さをより認識し、身近なものとして捉えることができるよう願っています。

★問い合わせ ☎044-811-2001

○宮前スポーツセンター

～より幅広い利用者の事業展開をめざして～

「冬来たりなば、春遠からじ」というように、長い厳しい冬から、春の足音が聞こえてくるようになりました。

昨年度は、多くの皆様に本館をご利用いただきありがとうございました。今年度は、更に事業内容の充実を図ってまいります。そのひとつとして、教室やスポーツデーの種目見直し、0歳児から4歳児までの教室の充実をめざします。特に、0歳児から2歳児を対象とした教室が今まで無かったため、多くの保護者からご要望をいただいていた。4月から開催していきます。

また、昨年度に続き好評の高齢者対象の「マリアンナ式筋力アップ教室」の充実発展をめざしていきます。

★問い合わせ ☎044-976-6350

○麻生スポーツセンター

～6月に24周年を迎えます～

今年の6月で24周年を迎えます。今まで以上に利用者の方々の声を大切にして、よりよいスポーツセンターになるよう努力してまいります。

今年度は10月に小学生を対象とした無料開放などを計画しております。小学生が運動に親しむ機会を増やし、スポーツと触れ合う場を提供します。

また、春、秋、冬に各2種目のスポーツ教室を開催します。春は、親子スポーツ、真向法体操。秋は、気功太極拳、卓球。冬は、ストレッチ体操、バウンドテニスです。是非ご参加ください。

★問い合わせ ☎044-951-1234

○大山街道ふるさと館

～新たな企画も加えて、さらに郷土理解を進めます～

江戸時代から主要な脇街道の一つとして栄えた大山街道の面影を残す地に立地する本館は、ここ数年利用者が増えてきています。郷土理解を図るとともに、皆様に学習と発表の場を提供するという本館の役割を少なからず果たしているものと嬉しく思っております。

今年度は例年の企画展や文化講演会に加え、新たな郷土史料発見に基づく特別企画展や郷土理解を深めるための講座を開設します。今後とも、皆様のご来館とご利用を更に広げられるよう努めてまいります。

★問い合わせ ☎044-813-4705

○有馬・野川生涯学習支援施設

～新たに加わり、5月中旬開所です～

今年度新たに指定管理施設として加わりました。市民の生涯学習の振興を図るために設置され、様々な市民活動を行うグループ・個人を支援し、グループ間の交流や連携を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会をつくることをめざします。



有馬・野川生涯学習支援施設外観イメージ

川崎市生涯学習プラザ

皆様の活動の場としてご利用ください

予約状況・利用料等、詳細は川崎市生涯学習財団のホームページからもご覧いただけます。

川崎市中原区今井南町514-1
(財)川崎市生涯学習財団

<http://www.kpal.or.jp/>



談話コーナー

無料

お気軽にご利用ください。

101 活動室 (36.2㎡)

平日・午前 1,500円～
午後 2,000円～
夜間 2,500円～

201 会議室
301 会議室 (72人)

平日・午前 3,000円～
午後 4,000円～
夜間 5,000円～

401 大会議室 (144人)

平日・午前 6,000円～
午後 7,000円～
夜間 8,000円～

302 多目的ルーム(124㎡)

402 フィットネスルーム(214㎡)
平日・2時間 2,500円～

～こどもからおとなまで楽しめる芸術祭がいよいよ開幕です。～

Arte Ricca アルテリッカ しんゆり 4/24(金)～5/10(日)

会場となる9つのホールすべてが
新百合ヶ丘駅より徒歩5分以内

チケット専用ダイヤル(電話予約)

952-5046

(9:30～17:00)

チケット・うれしい価格で絶賛!! 発売中

お早めにご予約ください。 [アルテリッカ](#) [検索](#)

5/2 (土) 梵天 特別編成コンサート
～ライブアジア～

- 麻生市民館ホール
- 15:00開演(14:30開場)
- 料金/3,500円(全席指定)



◎出演/梵天、真言宗豊山派声明、
ジャーパンファン、里アンナ

5/3 (日・祝) 大蔵流狂言 山本三兄弟
「柿山伏」「二人袴」「首引」

- 麻生市民館ホール
- 14:00開演(13:30開場)
- 料金/(S)3,800円
- (A)2,800円(全席指定)



◎出演/大蔵流山本三兄弟(山本東次郎、山本則直、山本則俊)ほか
◎解説/馬場あき子(歌人)

5/6 (水・振休) 劇団民藝
エイミーズ・ビュー

- 麻生市民館ホール
- 13:00開演(12:30開場)
- 料金/(S)5,300円
- (A)4,300円(全席指定)



◎出演/劇団民藝(奈良岡朋子、河野しずか、境 賢一、入江杏子)
◎作/デヴィッド・ヘア ◎訳・演出/丹野郁弓

公演カレンダー

きっと!ずっと!この日の感動はおぼえている。

- 4/24 [金] 9:30/ドラえもんとなかまたち展～5月10日まで 18:00
- 4/25 [土] 10:00 「いまに生きる今村昌平」～5月15日まで
15:00 日本オペラ協会公演 オペラ「夕鶴」全1幕
- 4/26 [日] 14:00 ジュンビ キム ピアノリサイタル
15:00 日本オペラ協会公演 オペラ「夕鶴」全1幕
- 4/27 [月] 19:00 林家正蔵と佐山雅弘の「ジャズ落語」
～スウィングしなげりや意味がない～
- 4/29 [水・祝] 11:00/劇団飛行船「オズの魔法使い」
14:00/オペラシアターこんにゃく座
18:00 「セロ弾きのゴーシュ」
14:00 ～ソプラノ、ハープ、フルートが贈る～
癒しと憩いのコンサート
15:00 ステップス・ミュージカル「boy be...」
何のためにほくはいるんだろう...

- 5/1 [金] 19:00 エリック ミヤシロ EM. Band
- 5/2 [土] 14:00 ～トリオ・リベルタ コンサート
in SHINYURI
15:00 梵天 特別編成コンサート
～ライブアジア～
- 5/3 [日・祝] 13:00 日本映画学校☆特別上映会 5月6日まで
日本映画学校 大教室 無料(先着順)150名
14:00 新皇ベルカント・ソプラノ
光岡暁恵リサイタル
14:00 大蔵流狂言
山本三兄弟「柿山伏」「二人袴」「首引」
馬場あき子(歌人)解説付き
14:00 山猫合奏団「どんぐりと山猫」
- 5/4 [月・祝] 11:00/人形劇団ひとみ座
14:00 「大どろほうホッツェンプロッツ」

- 15:00 河東けい 一人芝居「母」
- 5/5 [火・祝] 11:00/人形劇団ひとみ座
14:00 「大どろほうホッツェンプロッツ」
15:00 国府弘子ピアノ/deコンチェルト
～昭和音楽大学管弦楽団とともに～
15:00 劇団なんじゃもんじゃ
「きずだらけのリング」
- 5/6 [水・振休] 13:00 劇団民藝「エイミーズ・ビュー」
14:00 東京交響楽団アンサンブルコンサート
16:30 劇団青年座
津嘉山正種ひとり語り朗読劇「人類館」
- 5/8 [金]～5/10 [日] クラウン劇団 OPEN SESAME
「クラウンのいる風景 一思いの出のカケラ」
5/8(金)・5/9(土)19:00 5/10(日)14:00

料金など詳しくは実行委員会事務局へ/TEL・FAX 044-952-5024(新百合21ホールB2F)